岐阜県伝統工芸品展



美濃和紙

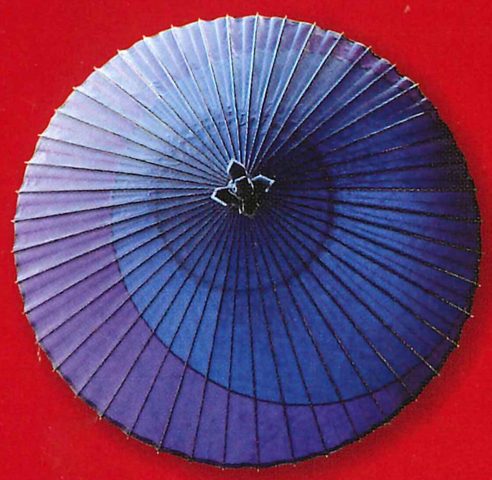


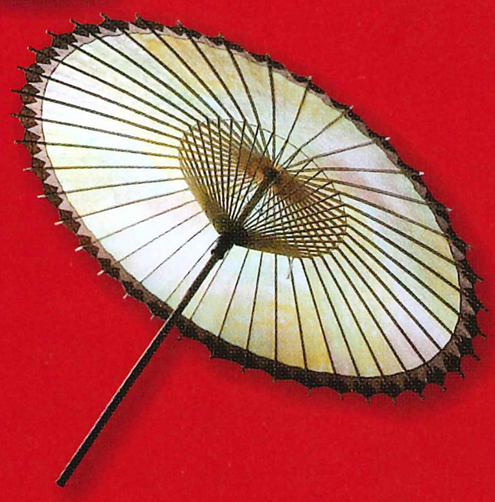


岐阜提灯



一位一刀彫





岐阜和傘



飛騨春慶





美濃焼

令和6年

日時 8月16日[金]－8月29日[木]

11時～19時（初日は12時から／最終日は18時まで）

会場 伝統工芸 青山スクエア 特別展スペース

入場無料

主催 岐阜県

職人による実演

美濃焼
8月17日[土]・18日[日]

ろくろを回し、鮮やかな手つきで器のかたちを成形する職人の磨き抜かれた技をご覧ください。

岐阜和傘
8月24日[土]

和傘の内側に繊細な糸の花を咲かせる「糸かがり」の実演。竹骨の穴に糸を通して装飾と補強をします。

一位一刀彫
8月25日[日]

一位の木は常用針葉樹で古くから日本に根付いてきた木材です。着色をせず木と向き合い木そのものの美しさを引き出す、匠の技をご堪能ください。

特別展示

織部焼特集／美濃焼将棋セット

織部焼は、慶長10年（1605年）頃、岐阜県土岐市付近で始まり元和年間（1615年-1624年）まで、主に美濃地方で生産された岐阜県を代表する陶器です。美濃焼の一種で、志野焼の後に造られました。美濃出身の武人で千利休の弟子でもある茶人の古田織部の指導で創始された陶器で、歪な形、味わい深い暗緑色といった斬新なスタイルが特徴的です。

美濃焼将棋セットは、藤井聡太さんの活躍で将棋ブームがわき起こる中、土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐で開発されました。駒・盤ともに、公式のサイズで制作されており、織部・黄瀬戸・青白磁などによって、駒の手触りや駒音が違います。

岐阜県の豊かな山と清流が育んだものづくりのかたち



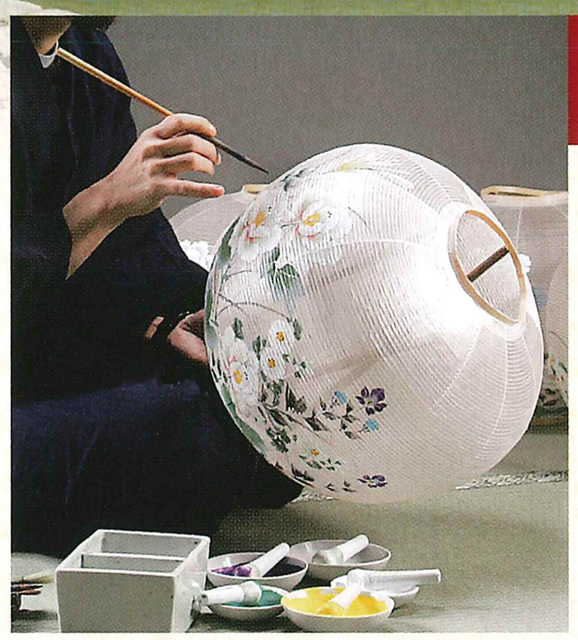
美しい森と清冽な水に育まれ、「飛山濃水」と謳われる岐阜県。
古来よりものづくりの盛んなこの地では、
全国、世界へ誇る工芸品が育まれてきました。

匠たちが伝統の技と時代の息吹を込めた逸品の数々は、
今も多くの人を魅了しています。



美濃和紙

1300年以上の歴史を有する日本最古の紙。縦揺りに横揺りを加える伝統技法で、縦横均等な強度があり、繊維が重なって作り出される繊細な美しさが特徴です。



岐阜提灯

400年ほどの歴史を有し、季節の草花や風景等を描いた優美な火袋（明かりが灯る部分）が特徴です。インテリア照明としての分野もあります。



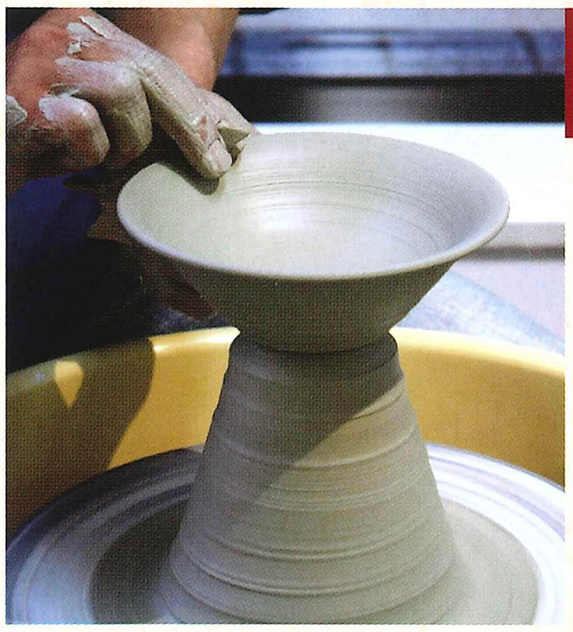
岐阜和傘

岐阜は全国の和傘生産量の6割以上のシェアを占め、約300年の歴史を有しています。細身で繊細な構造が特徴の蛇の目傘や透け模様や優美なデザインが特徴です。



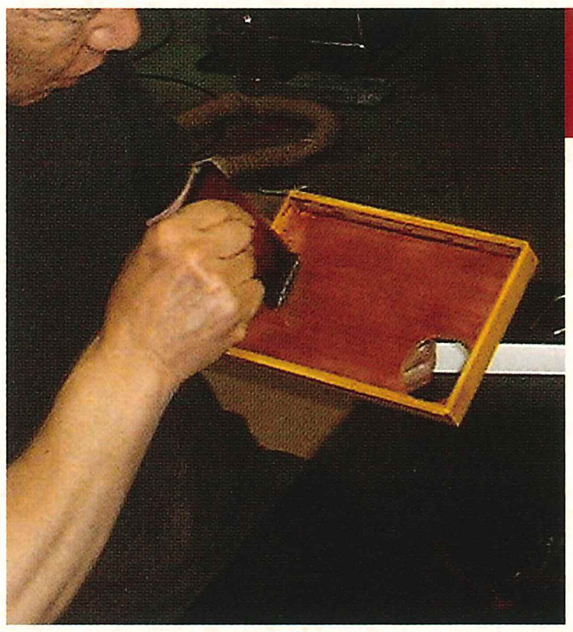
一位一刀彫

木目が美しく、次第に茶褐色になり艶が出てくるイチイの木を材料に、加飾、着色をせず、彫刻刀の技のみで鋭く彫り上げます。木目の流れ、赤太、白太の木の色合いを巧みに利用した技です。



美濃焼

陶磁器生産量日本一を誇る東美濃地方で作られる焼き物です。黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部などの代表的な焼き物があり、15種類で伝統的工芸品として指定されています。



飛騨春慶

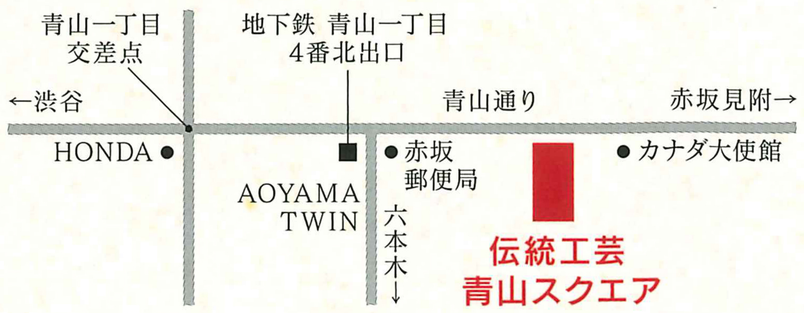
飛騨高山で生まれた漆器。透漆の艶やかな色合いと漆を通して見える木目の美しさ、時とともに漆が透け、美しい木目が浮き出てきます。

岐阜県の伝統工芸品展

令和6年 8月16日（金）— 8月29日（木） 11時～19時
（初日は12時から／最終日は18時まで）

伝統工芸 青山スクエア 特別展スペース 東京都港区赤坂8-1-22

問合せ　TEL 03-5785-1301　※営業時間は状況により急遽変更する可能性がございます。
最新情報をホームページ（https://kougeihin.jp/）にてご確認の上ご来店ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
12 つくる責任 つかう責任